

## 推薦調書（実装部門）

表彰区分	指定都市・中核市・施行時特例市等	推薦都道府県	東京都
地方公共団体名	港区		
取組名称	みなと母子手帳アプリの導入		
連携自治体、企業、団体等	株式会社ミラボ		
デジタルを活用した取組の概要 （デジタルを活用した取組の全体概要と解決する個別課題の具体的内容）	（種類）	①	（左記が①の場合 の分野） 子育て
	<p>【デジタルを活用した取組の全体概要】</p> <p>港区が、子育て世代の区民に対して、以下のような機能を有するアプリを提供する取組。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆乳幼児健康診査乳幼児一時預かり事業、その他の子育て支援事業の予約</li> <li>◆保育園入園申し込み時に家庭状況によってパーソナライズ化される必要書類や空き状況の確認</li> <li>◆保育サービスの専門相談員「保育コンシェルジュ」の予約</li> <li>◆予防接種のスケジュール立案、調整 など</li> </ul> <p>【実施に至る経緯・動機】</p> <p>母子健康手帳は、妊娠期から産後まで、新生児期から乳幼児期まで一貫して、母子保健の記録を、医療関係者や行政が記載・参照し、また保護者自らも記載し管理できるよう工夫されている。これは、非常に優れた母子保健のツールだが、活用する子育て世代の区民にとっては、記録に対するフィードバックの乏しさや、紛失や携行忘れ等のリスクがあった。</p> <p>また、種類と回数、接種間隔等の条件が多い予防接種のスケジュール管理や担当部署の開庁時間でなければ予約等ができない各種乳幼児健康診査・子育て支援事業へ困難感を感じる保護者も少なくないことから、新たなツールの導入が必要であった。</p> <p>【解決した課題の具体的内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◆母子健康手帳を紛失すると、保護者が管理する母子保健記録のほとんどを失い、就学段階が上がった際などに記録の参照が困難になる等の課題があったが、母子健康手帳の記録をアプリにも保存（入力または写真による）しておくことで、データを港区独自データベースに保管し、母子健康手帳を紛失した際でも過去の母子保健記録を参照可能とした。</li> <li>◆種類の増加等の理由により複雑化し、接種率の低下や間違い接種の増加などの課題があった子どもの予防接種について、AI を搭載した予防接種スケジュールの機能をアプリに搭載することで、個々の子どもに合わせたスケジュール作成や日程変更時の自動調整（通知）等を行い、適切な時期に必要な接種を案内可能とした。このことにより保護者が複雑な予防接種スケジュールを立案する必要がなくなり、適切なタイミングで通知（メールやスマート</li> </ul>		

フォンへのプッシュ通知)を行うことで接種率が向上した。また、誤った接種間隔等で接種を受けに行く可能性が減少し、結果として不適切な間違い接種が減少した。

⇒予防接種や乳幼児健康診査の情報を確実に届け、接種率を向上させるとともに、接種間隔ミス、間違い接種を防止することができた。

◆保健所で実施される乳幼児健康診査等の事業や、乳幼児一時預かり事業は、電話で予約を受け付けてきたが、開庁時間内に電話が出来ない共働きの家庭には不便だった。予約期間内であれば24時間申し込み可能な予約システムをアプリに搭載したことにより利便性が増した。

◆保護者が必要とする子育て情報や、子育てイベント情報、予防接種、及び健康診査等の子育て支援情報は、多くの場合に、必要とする対象者が能動的に調べるなどして情報を取りに行く必要があったが、アプリ上に登録可能な生年月日情報から対象者を抽出して、子どもの年齢や性質に応じた情報提供を区が積極的に行うことを可能にした。

◆保育園入園を検討する世帯は、区が公表する園の一覧と個別の地図情報を見比べて自宅からの登園可能性等を検討する必要があったが、アプリ上にマップ機能を搭載することで、現在地や自宅周辺から保育園までの所要時間や、定員・入園可能月齢といった詳細情報を検索することを可能にし、直感的な情報の検索・取得を可能にした。この機能は予防接種や乳幼児健康診査の受診可能医療機関を検索する際にも同様の課題解決に役立っており、ワンタッチで予約の電話をかけることも可能にしている。

◆保育園入園申請時や入園後に必要となる書類は、家庭の状況、例えば「入園希望の理由」や「配偶者やお子さんの状況」により異なり、書類不備や提出漏れがあったが、上記の家庭の状況を詳細にアプリ上で回答することで、必要となる書類を検索することができ、書類不備や提出漏れを防ぐことができた。

◆保育コンシェルジュ(相談者の個々の家庭状況等から、きめ細やかな保育サービスを提案する専門の相談員)の予約申し込みの受付に、区職員の業務が圧迫されていたが、アプリ内へ24時間申し込み可能な予約システムをアプリに搭載したことにより解決した。

デジタルを活用した取組による成果(成果がわかるデータ・数値)

◆令和2年6月の導入から定期予防接種における年間の間違い接種件数が44.1%減少した。(令和元年度:74件/年、令和2年度:68件/年、令和3年度:38件/年)

◆小児(ここでは7歳未満)の定期予防接種率が前年度比3.9%、前々年度比2.5%上昇した。

◆保育コンシェルジュの予約を24時間可能にしたことで、電話での予約数が半分以下になった。(アプリ実装前は8:30-17:15までの予約時間であったため、申込締切り前には多くの予約電話がかかっていた)

◆子育てのスタートから間もなく、多くの予防接種をスケジュール立てて受けていかななくてはならない0歳児段階の登録率が85.7%に到達した。(0歳区民:2,428人、0歳登録子ども数:2,080人、令和4年3月1日時点)

<p>本取組の特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点</p>	<p>下記の子育て世帯向けサービスを一つのアプリ（Webまたは、スマートフォン上から利用可能。）に搭載し、高い利用率を実現した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 予防接種 AI スケジューラー</li> <li>• 母子健康手帳の記録内容のデジタル保存機能</li> <li>• 乳幼児健康診査の 24 時間予約機能(予約期間内に限る)</li> <li>• 母子保健健康教育（両親学級）等の 24 時間予約機能(予約期間内に限る)</li> <li>• 乳幼児一時預かり事業の空き状況確認及び 24 時間予約機能</li> <li>• プレママ応援事業の面接 24 時間予約機能(予約期間内に限る)</li> <li>• 保育コンシェルジュの 24 時間予約機能</li> <li>• 近隣保育園の位置・詳細の確認機能</li> <li>• 入園関連書類の検索機能</li> </ul>
<p>今後の展望</p>	<p>導入 3 年目ということもあり、0～12 歳の登録率は 24.8%と低い（0～12 歳区民：31,670 人、0～12 歳登録子ども数：7,853 人、令和 4 年 3 月 1 日時点）ので、現状の会員数の維持と、より年齢の高い子どもがいる世帯にも利用していただけるようなサービスを展開する。（利便性や将来性の拡大のため、予防接種予診票等の電子化実証実験へ参加予定。時期未定。）</p> <p>また、保護者だけでなく子ども本人も自身の記録を管理・参照でき、自治体からのサービスや情報提供を受けられるようなアプリにしていく。</p>

## 「みなと母子手帳アプリの導入」

<区に寄せられた区民からの声>



- ・子育て支援に関するお知らせは重要なので、情報をきちんと入手したい。
- ・予防接種は種類と回数が多いので接種スケジュールを間違えてしまった。
- ・紙の母子健康手帳は必要だが、紛失するリスクもあるのでデータでも管理したい。
- ・乳幼児の健康診査や一時預かり事業を利用したいけど、開庁時間に予約の電話ができない。
- ・保育園入園申請時や入園後に必要となる書類が複雑で分かりづらい。
- ・保育サービスについて詳しく相談したい。

### 母子健康手帳の記録を保管

- ・妊婦健康診査 記録管理
- ・乳幼児健康診査 記録管理
- ・成長記録 (グラフ)
- ・修正月齢にも対応

### 行政

- 業務負担軽減!
- 情報配信!
- 住民サービスの向上!
- 問い合わせの減少!
- 医療事故防止!

### 随時 機能を拡張

### 予防接種スケジュール

- ・生年月日からスケジュールを自動立案
- ・接種記録の登録
- ・リマインドのタイミング、頻度の設定

### 子育て支援

- ・子育て支援情報の通知
- ・施設検索
- ・医療機関検索
- ・保育園検索
- ・保育園関連書類検索



### 自治体からのお知らせ

- ・メール/プッシュ通知
- ・イベント情報
- ・予防接種リマインド
- ・乳幼児健康診査リマインド
- ・最新の疾患情報

### 予約システム

- ・保育コンシェルジュ相談予約
- ・乳幼児健康診査予約
- ・乳幼児一時預かり事業の予約

### 電子申請サービス

- ・予防接種の予診票再発行
- ・アンケート回答

### 保護者

- かんたん自己管理!
- 役立つ情報が届く!
- 情報の入手先1本化!
- 時間に縛られず予約!
- 各種リマインド!
- 相談事業の活用!
- 質問回答で必要書類検索!